

H25 年度 代表者部会 報告

1. 日 時 : 平成 25 年 9 月 29 日(日) 14:00~16:00
2. 場 所 : 堺市総合福祉会館 4階 第三会議室
3. 参加団 : 22 団体 34 名 (内訳別紙)
4. 議 題 : (1) 合唱団のナ・ヤ・ミ
(2) ジョイントコンサートの運営に関して (資料は各団へ事前発送)
趣旨・チケット分担案 (A・B) について
5. 議事進行 : 5 グループに分かれてグループ内で自由に意見交換を行い、各グループ毎に結果を
発表していただく、という方法で進行。
6. 打合せ結果 (各グループの発表詳細については別紙参照)

6-1. 合唱団のナ・ヤ・ミ

(1) 団員の高齢化

全てのグループで出た悩み。高齢化と団員の減少がセット。ただし、高齢化を憂うのではなく、頭の体操として発奮するとか、また人間の体でもっとも老化が遅いのが声帯だといわれていることから、前向きに取り組んでいくことが大切との意見がありました。

(2) 団員の増員、特に若い人

全てのグループで出た悩み。少ないことによる運営資金面での苦勞も多い。増員の方法として、合唱祭を見て興味をもったので入っていただいた、という例や、ブログやホームページの利用、団員が直接スカウトしてくるなど、各団でいろいろ試みてはいるが、満足の得られるほどの増員にはなかなか結びついていない、との声が多いです。

(3) 練習場所に関する悩み

多くのグループで出た悩み。内容については様々。たとえば学校などは安く利用できるが、利用者に制限がある。また、毎回予約する必要がある、いつも使えるという保証がない。臨時に練習をしたい時に、ネットなどで探しても手ごろな場所が見つからない、など。

(4) その他

児童合唱では男子の声変わりの問題と、そのあとの補充が難しい (塾やスポーツへ流れていく)。人数に関してだけでなく、団内のパートのバランスが悪い、というのも悩み。

団の方向性と、団員の思いが必ずしも一致しない場合もありうる (音楽性が楽しみか、など)。

6-2. ジョイントコンサートの運用に関して

ジョイントコンサートへの出演に関しては、「単独で演奏会をする負担を考えれば、安く本番の舞台が持てるので、歓迎したい」という意見がある一方で、「定期演奏会を行っている団は、プラスαで本番を持つのは負担が大きく難しい」という意見もありました。

チケットの負担に関しては、意見は様々。出演者負担の大きいA案と、やや少ないB案について希望は分かれました。ただし、グルーピングについて、10人と19人の団で同じチケット負担というのは不公平感がある、という意見が2つのグループから出され、やるなら人数比例で、という意見でした。

7. 総括

- 7-1. 合唱団の悩みについて、(1)(2)(3)が共通課題と考え、連盟として支援できる方策を検討していきます。
- 7-2. ジョイントコンサートに関しては、今回出された意見も参考にして理事会で進め方を煮詰め、後日各団へ案内をさせていただきます。

名簿N	団 名	出欠	人数	実績	受付日	備考
1	堺市少年少女・堺リーブズハーモニー					
2	La Fonte					
3	合唱団 かえで	欠	0		9月17日	日曜午後練習
4	合唱団 泉北					隔日曜午後練習
5	合唱団 PHENIX	出	1	1	9月13日	
6	コール 漣	欠	0		8月9日	
7	混声合唱団 N	出	1	1	9月8日	
8	混声合唱団 チェラーミカ	出	1	1	9月6日	
9	混声合唱団「陽」	欠	0		8月10日	隔日曜午後練習
10	堺市民合唱団	出	2	2	8月29日	
11	堺フロイデ合唱団					
12	泉北混声合唱団	出	2	2	8月18日	
13	鳳高OBクワイア	欠	0		9月11日	隔日曜午後練習
14	男声合唱団「DOYA」	出	2	2	8月20日	隔日曜午後練習
15	メンネルコール N	欠	0		9月13日	*混声合唱団N出席者が兼務
16	エコ・ヴィヨリーネ	出	2	2	7月29日	
17	鳳コーロアンダンテ	出	2	2	8月24日	土曜午後練習
18	神石女声コーラス あおぞら	欠	0		8月25日	土曜午後練習
19	コーラス集団「Wish・05」	欠	0		9月4日	
20	コーラス 虹	欠	0		9月13日	
21	コーロ・シレーヌ	出	1	1	9月8日	
22	ジュエル・コール	出	2	2	8月29日	
23	女声合唱 ViVi	欠	0		8月25日	
24	女声コーラス 木曜の会	出	2	2	8月25日	
25	新金岡コール・トワニー	出	2	2	7月20日	土曜午後練習
26	しんかなファミリー合唱団	出	1	1	8月29日	
27	すずらんコール	出	2	2	9月11日	
28	初芝パープルエコー	出	1	1	8月16日	
29	浜寺女声コーラス	出	1	1	9月6日	土曜午後練習
30	ひきしょう マミーズ	出	2	2	9月13日	土曜午後練習
31	フィオーレ	出	2	2	8月21日	
32	フラップバード					
33	フレンズ・エコー	出	1	1	8月12日	
34	百舌鳥やまばとコーラス	出	2	2	7月29日	
35	リーベ・コア	出	1	1	7月31日	
36	榎小学校PTAコーラス					土曜午後練習
37	東浅香山小学校PTAコーラスコアタンテ	出	1	1	9月14日	土曜午後練習

2013年9月18日時点集計 参加人数

(締め切り日は9月13日)

37団体中、出席22団 欠席9団 未回答 6団

34 34 名

申し込み通りの出席となりました。

各グループ発表内容

(Aグループ)

悩み、ということですが、パートの人数バランスが悪い、ということがあります。どこも持っていることだと思われませんが、団員確保と合わせてパートバランスの問題があります。また、定期演奏会をやっている団ですけれども、会場取りがなかなか大変です、とのこと。年に1度並ぶのですけれども、とれなかったらどうしよう、と毎年悩んだりしています。それから、高齢化に悩んでいます。ほかの団でも結構あるんじゃないかと思いますが、そういう悩みです。それから、人数が少なくて、コンサートを開きたいんだけどもなかなか負担金が増えるなどで、思うように開けない。1年先送りして、今年やることできない、とかそういう悩みをもっています。それから、これは親子ファミリー合唱ですけれど、子供といっしょにやるわけですが、男の子が高学年になると、声変わりをして、難しい問題があります。あるいは、塾通いやスポーツへ行くので、なんと引きとめておくか、という点で難しい、ということがあります。それから、現役でお勤めの団員を抱えている合唱団ですが、なかなか働いている方は、毎回々々の練習に、今年は仕事の関係で参加できない、ということがある。悩みとしては、ほかにもいろいろと、とりとめのないところで出たのですけれども、まあ、団の目標をどういうところへ設定するかと、いうところで悩みもあるようです。非常に高みを目指す団もあるのですけれども、団によっては、楽しくやれたらそれでいいじゃないか、というところもあり、基本のところでの葛藤が、それぞれの団である、ということです。

それから、ジョイントコンサートについてですが、自分の団でコンサートをする費用を考えれば、ジョイントコンサートは安く済んで、これぐらいの負担はなんでもない、というか、有難い、という団もあったようです。A案・B案については、A案に賛成のところが多かったですね。ただ、出場しない団の負担として、券の割り当てがグルーピングになっているのは意味がわからない。人数比率で割り当てたらどうか、そのほうが公平なのではないか、という意見が出ました。それからあと、ジョイントコンサートとは違うんですけれども、コーラスの魅力を若い人にもっと伝えないかんのではないか、という意見がありまして、あのとにかく、若い人をもっともっと、合唱団に入ってもらいたいな、という意見がありました。まあ、悩みですかね。結構最後の方はそんな話をしておりました。

(Bグループ)

最初のテーマ、悩みのほうですが、まず最初に高齢化でなかなか若い人が集まらない、とか、それからメンバーがどうしても少ない、ということですね。そのために例えば、連盟の力で何か団員募集の広告ができないか、とかの話になりました。それとあと、練習場所の件、これにつきましては、何団体か集まっていますけれども、なかには公民館等使えて、けっこう無料で使えるところもあるし、安定して練習できる場所を確保されているところもありますし、ここはちょっとまちまちでした。団員をどうやって集めるか、というのが一番悩みといえば悩みなんですけど、まあ“待ってる”、たとえばホームページを作って、それを見て入って来る人を“待ってる”、というのがありますけど、最終は団員が知ってる人を呼んでくる、というのがいちばん確実な方法である、という話になりました。

ジョイントコンサートにつきましては、A案、B案二つあるんですが、こんなふうに分の団でやるんだったらもっと負担金が高いからこれぐらいだったら、という意見と、逆に今回出ないんだから、自分ところが出るとしたら、まあ低いところがいい、という意見とまちまち、半々でした。それから先ほどもありましたけれども、出ない団の負担ですね、これあの、人数幅でやっていますけど、10人と19人

で同じ負担、というのはやっぱり納得しにくい。まあはっきり団員の人数かける何%というふうにされたほうが納得しやすいかな、という意見です。あの、いずれにしても連盟のこのような企画で交流したりする、バックアップする、という意味では協力したい、そういう意見でした。

(Cグループ)

まず、高齢化。団員は減るが増えない。それと、ある団体は指揮者のご都合で練習日が減り、練習が減るということは声もあまり出なくなっていて、団員が減少して、これまた財政難につながる、ということでした。それから、若い時と同じ声が出ないし、高齢化になると厳しいことをいわれてもできない、とか、楽しく歌えればいいわ、というような問題で前向きな形が少なくなるので、もうちょっとそれで皆さん頑張ってもらいたい、という意見です。それから練習場所ですが、小学校のPTAコーラスさんなんですけど、校区以外の方は入団できない、というところがあるみたいなんです。それには指揮者も含まれるそうで、指揮者も校区の中から選ばないといけないということで、現在は指揮者がおられない。だから非常に苦労されている、とのこと。また、いろいろな場所を借りておられますが、ピアノの調律が出来ていないところがあるので、それは困る、という意見がありました。

それと、ジョイントコンサートについてですが、毎年演奏会をしているところは、1年に2回、ということはないので出来にくいので、参加はしにくい、という意見がありました。一方、毎年演奏会ができなかったり、人数が少ない団体というのは、やっぱり負担があまり大きくなくて、連盟のフォローをしていただければ参加したい、ということです。で、A案・B案についてですが、7団体のうち、A案が5団体、B案が1団体、未検討が1団体、ということで、A案が多かったです。以上です。

(Dグループ)

ジョイントコンサートについて先に話しをさせていただきました。結果から申し上げまして、B案のほうに決をとらせていただきました。その経緯なんですけれども、連盟に登録している団体としては今回4団体が参加されて先陣を切っていただくんですけど、いつかは自分も参加するほうにまわると、なので、参加団体、不参加団体両方の立場で考えてみたときには、やっぱりその負担の割合というものを考えてみましたら、出演しない団体が、団全体で3枚ですとか、まあ10枚、以内ですよ。で、参加される団体が一人で3枚、4枚になってくると、ちょっとでも負担を減らしてあげないと、打合せですとか、いろんな準備ですとか、ほかに負担がかかる、ということが想像されるので、そういうのを少しでも減らしてあげようかなと。で、この2案以外っていうのもちらっと出たんですけど、まあとりあえずこの2案はすごく考えて熟考されて、出していると思うので、この2案でとりあえずやってみて、で、1年後、2年後、その度にちょっと反省会も含めて、また更新していくのでどうだろうか、ということになりました。

で、2つ目が合唱団の悩みについて、なんですけども、まず出たのが人数がやはり少ない、と。団員数が少ない。あとは高齢化。それと場所の問題です。で、まず人数が少ないということなんですけれども、このグループの中で13名、19名、24名、60名と、けっこう幅はあるんですけど、やっぱりそれなりにまだ満足できないといいますか、人数はいればいるほど合唱としては、すばらしく成り立っていくものだと思います。たとえばリズムに関して、慣れないとか、楽しそうに歌っておられたとしても、なかなかある程度のレベルまでいけない方がいたとして、だけどそれは人数がいればそれをカバーできるのではないかと。そういう人たちを省くのではなくて、人数でカバーすることができる。なので人数を増やしたいんですけど、それを、ブログですとか、いろんな方法で、お話し期間

として1ヶ月間月謝なしとか、そういうので団員を増やす試みを行っている団もありますが、いちばんいい方法は何か、というところまではつきつめられていません。次に高齢化ですけれども、やっぱりあっちが痛い、こっちが痛い、という話が出るんですけれども、まあメンバーも若い人を入れたいんですけど、“出来上がったグループの中に入る”というだけで、すごくエネルギーの要るものだし、なかなか難しい問題です。ただその高齢化といわれる方が、わたしら年やからやめようと、そんなふうに云うんでなくて、いろんな頭の体操、ボケ防止もかねて“発奮してもらおう”と、すごくいい方向にいくんじゃないか、ということでした。それと場所なんですけど、高校の学校ですとか、そういうところを借りている分、会費も安くすみます。それ以外では、たまたまお弁当屋さんの上を安く借り上げたりとか、公民館ですとかがあるんですけど、やはりその会場費は会費に反映されてしまうことが多いので、やっぱりそういう施設が必要です。で、まあ私の団なんですけれども、いつもは小学校、中学校をお借りしてるんですけど、どうしても臨時で練習場所がほしい、というときに、すごく探しまわるんですね。で、インターネットとかも駆使したりするんですけど、それがなかなか見つからなかったりするんですね。だからたとえば、“このぐらいのレベルで、この日空いてますよ”みたいなのを、なんかこう発信していただけるような、そういうものがあつたらすごくいいのになあ、と。まあ連盟の中でするのかどうなのかちょっとわからないんですけど、そういう部分で場所っていうのもなかなか難しいものかな、ということでした。あと会費ですとか、規約についてもちょっとお話したんですけど、えーと、まあ¥3,000くらいから¥5,000過ぎまで、でそういうものについて、まああの、うちなんかすごく若輩のグループなので、あの、規約なんかについてどういうふうにされていますか、と教えていただいたんです。それで、月に何回か、会議を開くですとか、団長が何人、会員が何名ぐらい、会計が何名とか、そういうふうになっています、っていうことを教えていただきました。以上です。

(Eグループ)

えー、高齢化の問題は皆様同じで、若い人をゲットするには、入っていただくためには、どうしてるか、ということをお聞きしましたら、若い方は皆さんネットをなさいますので、ホームページを見て入ってこられた、という団もございました。ただ、団員さんの紹介で入っていただいたほうが、うちの団もそうですが、定着率が高い、ということです。それから、合唱祭の時とか発表会の時とかに、どの団に入りたいかということその場で決めて、この団がよさそうだから入ったと、いうこともお聞きしました。それで、発表会をするときには、皆様一所懸命熱演していただいたらいいか、と思います。それから、それぞれのコンサートのPRでございますが、お互いのPRのパンフレットを手渡ししたり、コンサートのパンフレットに差しこんだりしたらよいのでは、というご意見です。それから、お互いの発表会を見学することが大切ではないかということです。皆様積極的によその団の発表会もごらんいただくことが大切だと思います。それからレベルアップの問題ですけれども、努力されているところはパート別に、時間外に、15分くらい練習なさっているそうです。またパート別にCDを入れて、みなさんに配って事前に勉強してきていただいている、というところもあります。それからあの、年齢とともに暗記力も聴力も落ちてくる、ということですが、あの私、なにかのテレビか何かでちょっと聞いたことがあるんですけど、人間の体の老いる中で、声帯がいちばん遅く老いていく、ということも聞いたことがございますので、あのがんばっていただいたらいいと思います。

それからジョイントコンサートの参考プランの件ですが、このグループではB案で賛成だということですよ。堺市全体の行事だから、合唱連盟で協力して、皆さんで行ったらいいいのではないかと。以上でございます。